

「クラブ」を作つてほしい。憧れるクラブというのは簡単に入れないから憧れるのであって「増やせばいい、誰でもいい」という増強は憧れるクラブ形成には反するものとなり、人集めに奔走する前に人が入りたくなるクラブを作る。足元を見つめたクラブ形成がまず必要ではとの結論を得た。



第2班 報告者：三田村士郎

玉村（責任者）、奥村、中西、河嶋、橋本幸恵、矢尾
ロータリーの知名度が低く世間では知られていないので、新聞等に過去の事業を載せた広告を出したり、市民向けの講演会等の事業をしたほうが良い。会長の下、会員拡大の特別委員会を作らなければならない。ロータリーの伝統は、親睦委員会で勉強して、家族ぐるみで親睦を図り、女性が入りやすいロータリーにしなければ。行政からも入ってもらうのもよいのではないか。ロータリーの平均人数は人口1万人に対して7名位だそうです。



第3班 報告者：宇野晃成

白崎弘康（責任者）、鎌谷、内藤、河合、倉橋、田中茂、宇野賢治、三田村久光
「武生クラブは敷居が高いと感じていましたが、いざ入会してみると、毎週の例会は若い者にとって大変かもしれないが、たくさんの方々と話ができる、入会して良かったと思う。」という話がありました。以前はJCを卒業したら、自然とロータリーあるいはライオンズに入会するという流れがあったが、外から見ると、平均年齢の高さが、入会に対して敷居を上げているのでは無いかと言う意見が出された。若い方への、特にJC卒業者への積極的な働きかけが必要では無いかと思われる。そのためには、親睦委員会などでロータリーの良さを知ってもらい、同年代の方に働きかけをしてもらうことが必要と思うとの



本日(5月26日)の例会

ゲスト卓話
越前市地域おこし協力隊
牛久保星子氏 小野寺康浩氏

6月2日

第一例会行事 ゲスト卓話
日本銀行福井事務所
所長 江藤公彦氏

6月9日

RYLA受講報告
RYLA受講者
田中雄一郎氏

6月16日

ゲスト卓話
吉野公民館
館長 藤田辰男氏

第4班 報告者：西藤浩一

米岡（責任者）、森上、油谷、石川浩

- ・高年齢化の現状を踏まえると、会員増強による若返りの必要性は出席者全員の共同認識であった。
- ・今後、クラブ内の会長、委員長などの選考に際して慣例に基づいて進めていくと支障が出てくることが想定される。
- ・28年度の事業を想定すると27年度の段階から、準備を進めていかなければならぬ。そのための体制を考える必要がある。
- ・会員増強にあたっては、例会出席など今の時代に合った柔軟な運営方法などを考えることも必要。



第5班 報告者：野田義弘

竹内（責任者）、草桶、石本、白崎裕二、井上、宮前

委員会の活性化を図り、継続した家族会をクリスマス会以外に計画する。年当初ます委員会を開き皆で事業計画を作る。何でも幹事に頼らない。



ニコニコ箱 …… 12,000 円 累計 1,305,008 円

- ・炉辺会合の発表、各班の皆さんよろしくお願いします。
【米岡房直】
- ・結婚歴57年とか。よく持ったものです。【渡辺佳男】
- ・お陰様で、今のところ元気にしております。
【谷尾榮一】
- ・うれしかった事がありましたので。
【河合敏一】
- ・発表させていただきます。
【野田義弘】
- ・炉辺会合の報告をさせて頂きます。
【宇野晃成】
- ・5月16日に第5回のTRグリーン会コンペを行いました。次回6月は納会となっています。ゴルフ終了後、懇親会も行いますので、是非参加して下さい。
【井上常宏】
- ・4班の発表させていただきます。
【西藤浩一】

例会変更情報／福井県内ビジター受付 (5月27日～6月9日)

5月27日 丸岡RC 18:00～18:30 東角建設㈱入口ロータリー事務所
5月29日 三国RC 12:00～12:30 三国観光ホテルフロント
6月 3日 福井北RC 休会 ビジター受付なし
*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

意見が出された。ただ以前より言われることであるが、ロータリーとしての品位を保ちながら、会員を拡大することが必要であるとの意見もあった。

第4班 報告者：西藤浩一

米岡（責任者）、森上、油谷、石川浩

- ・高年齢化の現状を踏まえると、会員増強による若返りの必要性は出席者全員の共同認識であった。

・今後、クラブ内の会長、委員長などの選考に際して慣例に基づいて進めていくと支障が出てくることが想定される。

- ・28年度の事業を想定すると27年度の段階から、準備を進めていかなければならぬ。そのための体制を考える必要がある。
- ・会員増強にあたっては、例会出席など今の時代に合った柔軟な運営方法などを考えることも必要。

第5班 報告者：野田義弘

竹内（責任者）、草桶、石本、白崎裕二、井上、宮前

委員会の活性化を図り、継続した家族会をクリスマス会以外に計画する。年当初ます委員会を開き皆で事業計画を作る。何でも幹事に頼らない。

ニコニコ箱 …… 12,000 円 累計 1,305,008 円

- ・炉辺会合の発表、各班の皆さんよろしくお願いします。
【米岡房直】
- ・結婚歴57年とか。よく持ったものです。【渡辺佳男】
- ・お陰様で、今のところ元気にしております。
【谷尾榮一】
- ・うれしかった事がありましたので。
【河合敏一】
- ・発表させていただきます。
【野田義弘】
- ・炉辺会合の報告をさせて頂きます。
【宇野晃成】
- ・5月16日に第5回のTRグリーン会コンペを行いました。次回6月は納会となっています。ゴルフ終了後、懇親会も行いますので、是非参加して下さい。
【井上常宏】
- ・4班の発表させていただきます。
【西藤浩一】

例会変更情報／福井県内ビジター受付 (5月27日～6月9日)

5月27日 丸岡RC 18:00～18:30 東角建設㈱入口ロータリー事務所
5月29日 三国RC 12:00～12:30 三国観光ホテルフロント
6月 3日 福井北RC 休会 ビジター受付なし
*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(5月26日)の例会

ゲスト卓話
越前市地域おこし協力隊
牛久保星子氏 小野寺康浩氏

6月2日

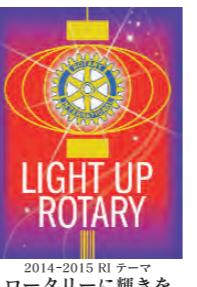
第一例会行事 ゲスト卓話
日本銀行福井事務所
所長 江藤公彦氏

6月9日

RYLA受講報告
RYLA受講者
田中雄一郎氏

6月16日

ゲスト卓話
吉野公民館
館長 藤田辰男氏



2014-2015 RI テーマ
ロータリーに輝きを

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会長/米岡房直 幹事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎

第2958回 例会記録 平成27年5月19日(火)

本日出席会員37名

会員総数
62名

メークアップ(前々回) 10名

出席率(前々回補正) 75.44%

ロータリーソング「我等の生業」

ゲスト 赤坂みらい塾 代表 大森節子氏

会長挨拶 第61代会長 米岡房直

15年度 国際ロータリーのテーマ
本日のゲストは、赤坂みらい塾代表の大森節子氏です。野外ステージこけらおとしコンサートを主催して、地区の新世代育成基金奨励賞をいただきました。そのお礼の挨拶に見えられています。

日本各地で外国人観光客がみられる昨今、2014年の訪日外国人は前年比29.4%の1,341万4千人、2013年の過去最高を更新しました。円安効果やLCCの普及に加え、5年後の東京五輪を控え、今後も訪日外国人の増加は確実視されています。特に、東京五輪の決まった2013年秋以降からは、「第3次ホテル戦争(第1次がバブル前後、第2次がリーマンショック前後)」と表現される程、国内のホテル業界の競争が激化化されています。

その中心が外資系ホテルです。外資系ホテルは、昨年だけでもリツカールト京都を含む3施設が新たに開業しました。これは訪日外国人が、国際的に知名度の高いホテルを選ぶ傾向にあり、これを商機と見た外資系ホテルグループが一気に進出を計っているためです。この外資系ホテルがコンセプトに据えているのが「和のおもてなし」。純和風の客室はもちろんのこと、エントランスにはホテル専用の人力車が置かれたり、照明に江戸切子を使用したりと、外資系ホテルならではの和と洋の融合が多くみられます。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2015.5.26 No. 2373



2014-2015 第2650地区テーマ
ロータリーは
心くばり
hsd

さらに、これに加えて外資系ホテル特有の「おもてなし」があります。例えば、リツカールトでは、世界中の従業員が「クレドカード」と呼ばれる、ホテルの方針やお客様へのサービス精神について書かれたものを常に携帯し、世界中のどこでも同じ理念に基づいた徹底したサービスが提供されています。

しかし、日本勢も負けていません。「プロが選ぶ日本のホテル旅館100選」において、35年連続日本一となった加賀屋をはじめとする日本のホテルや旅館の「日本のおもてなし」は、外資系ホテルにはないものと言えます。例えば、加賀屋では、お客様との自然な会話からお客様の希望や要望を汲み、それを「極めて普通に」「至って自然に」駆け引きなしで叶える「本当のおもてなし」が実践されています。

ただ、先般の食品偽装問題に代表されるように、日本経済のデフレが、従来尊重されていた「おもてなし」のサービスを低下させているという実情もあります。そういった意味では、現在のところ、外資系ホテルが一步リードといったところでしょうか。それでも「星のや」で知られる星野リゾートにみられるように、従来の日本旅館の良さを大切にしながら、世間では「一度は泊まってみたい宿」と言われるまで経営再建したところもあります。

今後さらに増加する訪日外国人のニーズを捉えるレースは、まだまだ始まったばかりです。きっと五輪招致のスピーチであった「お・も・て・な・し」を味わいたい外国人も多いはずです。約10年周期で訪れるホテル業界の熾烈な顧客獲得競争から、まだまだ目が離せません。

プログラム

第三回炉辺会合報告

テーマ「次年度に向けて(会員拡大)」

第一班 報告者：宮本 俊

藤井(責任者)、三田村久治、橋本実夫、佐々木忠彦、三村、安久

中澤ガバナーエレクトの所信表明「皆があこがれるクラブ」「個性のあるクラブ」「家族を含め楽しい